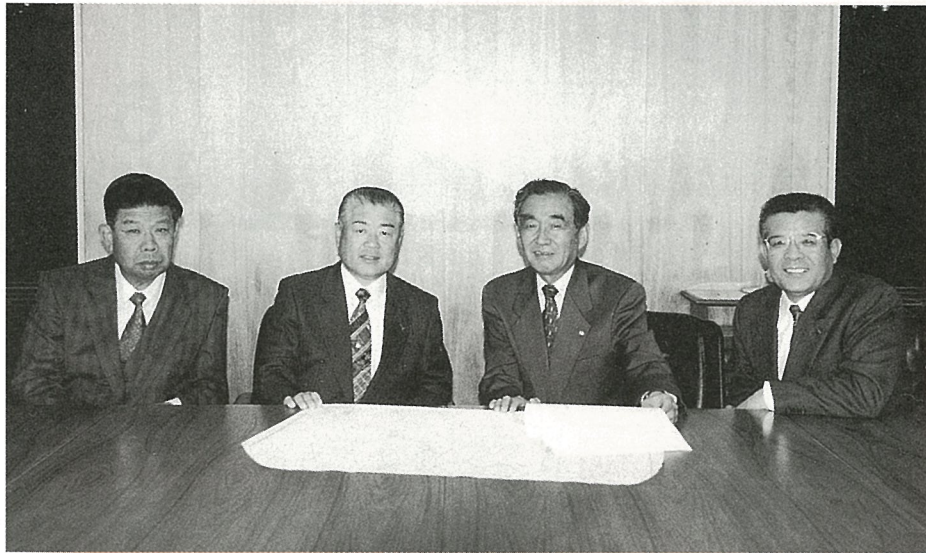


賀 謹



町政について語る高橋教育長、伊橋助役、向後町長、深田収入役（左から）

広報委員長あいさつ

愛される広報紙づくりに努力

広報委員長 伊橋 佳辰

新年明けまして、おめでとうございます。

西暦二千年の新春を迎えて、町民の皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。

昨年は、統一地方選挙の町議会議員選挙で、7名の新議員が誕生いたしました。町長選挙では、向後町政の4年間の実績が評価され、無投票当選で向後町長の2期目がスタートいたしました。7月には21年ぶりの農業委員会委員の選挙が行われるなど、光町にとりまして節目になる一年でありました。

節目の年でありましたが日本の経済情勢は、国の各種の政策効果の浸透などにより、緩やかな改善がはかられつつあるといわれておりますが、民間需要の回復力が弱く厳しい状況が続いております。

こうしたなかで、人々の生活価値観の多様化、本格的な少子高齢化社会に移行する中、介護保険制度も4月からスタートし、行政サービスは、地域の特性や生活に密接に係る課題に、的確に対応して行かねばならないと思っております。

そのためには、広報委員はもとより、広報通信員のご協力をいただいて、広報紙を通して情報交換をすべく、町の方針、重要施策等可能な限り掲載して、ご理解を深めていただくとともに、町民の皆様にあいさつされる広報紙となるよう努力してまいりますので、よろしくご指導くださいますようお願いいたします。

最後になりましたが、本年が幸多い年となりますようご祈念申し上げます。新年のごあいさついたします。